

2026年度（前期・後期・テーマ設定型）研究助成金募集要項

2025年12月4日

公益財団法人天野工業技術研究所

1. 助成の目的

工業技術分野における先進的な技術開発や、持続可能で競争力のある産業基盤の構築に貢献する研究を支援します。これにより、社会的課題の解決、環境への配慮、地域や社会への幅広い貢献を実現するとともに、我が国の工業技術のさらなる発展に寄与することを目的としています。

2. 3つの助成タイプ

本助成金は、研究の規模や研究者のキャリアステージに応じて3つのタイプを設けています。前期は若手研究者を対象とした小規模研究、後期は中堅研究者による発展的研究、テーマ設定型は特定課題に対する大規模かつ長期的な研究を支援します。各タイプの詳細は以下の通りです。

項目	前期	後期	テーマ設定型
募集期間	2026年2月1日(日)～ 2月28日(土)	2026年7月1日(水)～ 7月31日(金)	2026年10月1日(木)～ 10月30日(金)
募集件数	30件	20件	2件
助成金額	最高150万円/件	最高500万円/件	最高2,000万円/件
研究期間	2026年4月1日～ 2027年3月31日 (1年間)	2026年10月1日～2028年 3月31日(1年6か月間)	2027年2月1日～2029年 3月31日(2年2か月間)
対象年齢	39歳以下 (2027年3月31日現在)	62歳以下 (2028年3月31日現在)	62歳以下 (2029年3月31日現在)

3. 応募資格

本助成金への応募は、以下の要件を満たす研究者に限られます。応募前に必ず各要件をご確認ください。特に、所属機関長の推薦と公印の取得が必須となりますので、余裕をもった準備をお願いいたします。

項目	要件	備考
対象者	日本国内の大学（大学附置・附属研究所を含む）や高等専門学校の常勤教員、研究員	特任又は客員で特定のプロジェクトに従事することを目的に任用されている者を除く
推薦者	所属機関長（学部長又は研究科長以上）の推薦と公印	私印不可
国籍・性別	問いません	ただし、使用する言語は日本語のみ

過去受給者	研究期間終了後3年経過後なら応募可能	2022年度の前期以前の研究助成金（2023年3月31日以前の研究終了）の受給者は応募可能
重複助成	同一または類似する研究課題について、他団体からの重複助成は不可	当財団への申請中に他団体からの助成が決定した場合は速やかに申請を取り下げてください。また、他団体への申請中に当財団の助成が決定した場合は、他団体への申請を辞退してください

4. 研究分野

本助成金が対象とする研究分野は以下の通りです。前期・後期については4つの工業技術分野から自由にテーマを設定できますが、テーマ設定型については当財団が指定する特定課題に取り組む研究のみを対象とします。

助成タイプ	対象分野
前期・後期	①機械・精密機械 ②電気・電子材料 ③化学、環境・エネルギー ④AIの社会実装
テーマ設定型	空気清浄化技術

各分野において、学術的・工業的・技術的進歩を通じ社会全体への貢献につながる研究を募集します。

【重要】 様々な専門分野の審査委員が審査を行いますので、難解な専門用語の使用は避け、他分野の専門家でも理解しやすいようにお書きください。

5. 審査基準

申請された研究計画は、以下の5つの評価項目に基づいて総合的に審査されます。いずれの項目も重要であり、特に社会的意義と技術的独創性を明確に示すことが採択のポイントとなります。

基本方針：研究の計画と方法が、21世紀の学術及び工業技術向上に適切かつ独創的で、成果が期待できること。

評価項目	評価内容
社会的意義	当該研究がもたらす社会への貢献度や産業界へのインパクト
技術的独創性	新規性や独自性を備えた技術や知見の創出
実用化の可能性	研究成果の工業技術への応用や実装に向けた計画
持続可能性及び環境配慮	持続可能な社会づくりに向けた配慮と貢献
費用対効果	研究内容と費用の妥当性

6. 応募方法

電子申請システムURL: <https://zai-amano.yoshida-p.net>

応募は電子申請システムを通じて行います。以下のステップに従って手続きを進めてください。応募締切日までに「提出」ボタンを押すまでが完了となりますので、余裕をもって準備を進めてください。

ステップ	作業内容	詳細
ステップ1	マイページにログイン	新規の場合、マイページ取得
ステップ2	申請種類の選択	「2026年度（前期又は後期又はテーマ設定型）研究助成金」の申請書類から応募。注：他の募集と間違えないように申請種類を確認してください
ステップ3	申請者情報の登録	必要事項を入力
ステップ4	様式1のアップロード	研究助成金交付申請書(様式1)：所属機関長（学部長又は研究科長以上）の公印済のPDFファイル
ステップ5	様式2のアップロード	研究計画書（様式2）
ステップ6	提出	「提出」ボタンを押して応募完了

申請に必要な様式(様式1、様式2)は、以下のサイトからダウンロードできます。

様式ダウンロード先

入手方法	URL
当研究所のホームページ	https://zai-amano.or.jp/
電子申請システム	https://zai-amano.yoshida-p.net/

注：Wordファイルで作成し押印後、PDFファイルに変換しアップロードしてください

7. 選考の流れ

応募後の選考は、工学の専門家により複数段階で厳正に実施されます。選考プロセスの透明性と公正性を確保するため、外部審査委員による書類審査と選考委員会での審議を経て、最終的に理事会で決定されます。

ステップ	作業内容	詳細
ステップ1	事務局による基本審査	書類不備や分野違い等をチェックし、審査対象の絞り込みを実施
ステップ2	外部審査委員による書類審査	審査対象の申請書類を外部審査委員が評価し順位表を作成

ステップ3	※テーマ設定型のみ面接審査	外部審査の上位順位者に対し面接を実施（リモート面接を予定）
ステップ4	選考委員会での選考	外部審査委員が評価した順位表を基に選考委員会で審議、採択候補者を理事会に提出
ステップ5	理事会で決定	選考委員会から提出された採択候補者から最終的な採否を理事会で決定

選考委員会名簿

氏名	役職	備考
疋田 知士	当財団評議員会々長	工学博士（エナジーリサーチ代表）
小山内州一	当財団理事長	工学博士（慶應義塾大学名誉教授）
川幡 長勝	当財団前理事長	Ph.D.（日本大学理工学部（元）教授）
山田 宗慶	当財団外部理事	工学博士（東北大学名誉教授）
水野 彰	アマノ株式会社 技術顧問	工学博士（豊橋技術科学大学名誉教授）
須藤 雅夫	当財団執行理事	工学博士（静岡大学名誉教授）

外部審査委員の構成

公平性を期すため、全国の主要大学から各専門分野の有識者の先生方を外部委員として招聘し、厳正なる審査を行います。

8. 採否通知から助成金振込まで

採否結果は応募締切後2か月以内にマイページを通じて通知されます。採択された方には、助成金交付に向けた手続きをご案内いたします。

ステップ	作業内容	詳細
ステップ1	採否通知	応募締切後2か月以内
ステップ2	マイページで結果確認	採否通知後、マイページで確認可能
ステップ3	助成金振込手続き（採用者のみ）	大学事務局を経由して手続き
ステップ4	指定銀行口座への振込（採用者のみ）	大学事務局経由で振込実施

9. 受給者の義務

助成金の交付を受けた研究者には、以下の義務が課せられます。特に研究成果報告書の提出は必須であり、期限内に提出されない場合、次回以降の応募資格を失う可能性がありますのでご注意ください。

項目	内容	期限・詳細
研究成果報告書の提出	①正式版：A4用紙4～8ページ以内 (当財団指定テンプレート使用) ②概要版：A5用紙横（A4用紙1/2ページ） ※①、②の両方を作成してください	①研究期間終了後3ヶ月以内 ②研究報告書は、研究者に予告なく、当財団が毎年発行する年次報告やホームページに掲載します ③年次報告書の発行日またはホームページの掲載日に公知されたものとします
収支報告書の提出	研究助成金収支報告書（様式3）を提出 必要に応じて管理簿（予算経理簿等）のコピーの提出をお願いすることがあります	研究期間終了後3ヶ月以内
テーマ設定型の特別義務	①定期的な研究報告会を開催 ②当財団が主催する会議等での発表	必須
イベント参加	当財団が主催する成果報告会等のイベントへの参加と研究成果の発表	必須
成果公表時の明記	本研究の成果を公表する場合は、当財団の助成を受けたことを明記すること 【日本語例】本研究は（公益財団法人）天野工業技術研究所、20XX年（20XX年-20YY年）研究助成を受けて実施されました。 【英語例】This research was supported by a research grant of 20XX (during 20XX-20YY) from Amano Institute of Technology.	必須
研究計画の変更	研究期間中にやむを得ない理由により研究計画を大幅に変更する必要が生じた場合は、事前に当財団に相談し承認を得てください	事前相談が必要

※知的財産については、研究者に帰属しますが、特許その他の権利に関する事項が生じた場合、当財団に連絡すること

10. 助成金の管理について

交付された助成金は、所属機関の規定に従って適切に管理・執行してください。研究期間終了後には収支報告書の提出が必要です。助成金の使途や管理方法については以下の点にご留意ください。

項目	内容
管理方法	助成金は、所属機関の事務部門で管理し、研究期間内で執行してください
余剰金の扱い	原則として返金してください。ただし、余剰金が10万円以下の場合、当該研究に関連する研究のために執行する場合は返金不要です
収支報告書	研究期間終了後は、研究助成金収支報告書（様式3）を提出してください。必要に応じ管理簿（予算経理簿等）のコピーの提出をお願いすることができます
高額備品の扱い	高額な備品等の支出については、研究期間中に写真・領収書のコピーの提出をお願いすることがあります
助成金の返還	以下の場合は、助成金の全額または一部を返還していただきます： ④ 虚偽の申請・報告 ②助成金の目的外使用 ③研究成果報告書の未提出 ④研究を中止する場合（未使用分の返還）

11. その他確認事項

応募にあたり、以下の事項についても必ずご確認ください。特に間接経費の扱いや研究費の積算方法については、所属機関の規定を事前に確認されることをお勧めします。

項目	内容
間接経費／オーバーヘッド	間接経費（オーバーヘッド）が必要な場合は、前期150万円の場合10万円(6.7%)、後期500万円の場合50万円(10%)、テーマ設定型2,000万円の場合100万円(5%)を上限として、研究費積算表に経費として必ず記載してください。
研究費の積算	別紙1「研究助成金費用区分」を参照のこと
助成金の扱い	研究助成金は、大学等への寄付金扱いのため、各大学の委任経理規定に従い執行していただきます
費用のヒアリング	様式2－4 研究費等の費目が一部の費用に片寄っている場合は、研究内容との関連性についてヒアリングを実施する場合があります。

12. 問い合わせ先

本募集要項に関するご質問やご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせください。

機関名	公益財団法人天野工業技術研究所
電話	053-523-1171
Email	jyosei@zai-amano.or.jp

【別紙1】研究助成金費用区分

研究助成金として使用できる経費の区分と詳細は以下の通りです。申請時の研究費積算および執行時の参考としてください。なお、各費目の詳細については所属機関の規定も併せてご確認ください。

区分	細目	助成対象経費等
物品	消耗品	研究に必要な部品・材料等、図書購入費等。ただし、汎用性の高いパソコン・プリンター等事務的機器は対象外
物品	備品	研究に必要となる設備・備品の購入、設置費等
旅費	交通費・宿泊費	研究に係る調査・研究、学会等へ参加するための費用。研究者の旅費は、大学等の規定に準ずる。学生の帯同経費は交通費・宿泊費のみ(日当・食事代は対象外)。ただし、学会参加旅費は、研究者が発表する場合のみ対象とする。また、旅費・交通費の割合は、研究費総額150万円の場合は20%以内、研究費総額500万円の場合は10%以内、研究費総額2000万円の場合は、5%以内とする。
人件費	—	研究を補助する学生の研究支援費(アルバイト代)。ただし、本人及び共同研究者的人件費は対象外
謝金	—	研究に伴う外部有識者による技術支援・役務の提供等
委託費	—	研究に係る設備・備品の保守委託費、研究内容の解析・検査等の委託費
印刷費	印刷製本費	研究に係る資料等の印刷・製本費
通信費	通信運搬費	研究に要する資料等の郵送費等
使用料	機器使用料	学内共通機器使用料等
借上料	レンタル・リース料	研究に伴う機器・車両等の設備・備品のレンタル・リース料金
その他	—	研究に関連する会議、セミナー等の参加費（国内に限る）。間接経費（オーバーヘッド）が必要な場合は、前期150万円の場合10万円(6.7%)、後期500万円の場合50万円(10%)、テーマ設定型2,000万円の場合100万円(5%)を上限とします。

補足：研究助成金は、大学等への寄付金扱いのため、各大学の委任経理規定に従い執行していただきますが、特に、上記の点に御留意願います。